

知って備える 防災メモ

第66回



『大雨』がもたらす『災害』

登別市にもようやく夏が訪れました。短い夏を満喫しようと、行楽を予定している方も多いのではないのでしょうか。

しかし、これから秋にかけては、台風などによる広い範囲の大雨や発達した積乱雲による局地的な大雨などが発生しやすい季節です。

雨による災害の種類

私たちの生活に恵みをもたらす雨も、時にはいろいろな災害に繋がります。私たちの生活に大きな被害をもたらすことがあります。

- 道路、田畑の冠水や低い土地での『浸水害』
- 河川の増水や氾濫による『洪水害』
- 地盤が緩み発生する土石流やがけ崩れなどの『土砂災害』

登別市では過去に1時間で126ミリの豪雨が降ったことがあるなど、雨の多い地域であり、これまでも大雨による災害が多く発生しています。1時間に80ミリを超える雨が降った場合は水しぶきが立ち、辺り一面視界が悪くなるなど、圧迫感や恐怖を感じる方もいます。

大雨が予想される場合は、気象庁が発表する警報や注意報、市の発令する避難に関する情報に気を付け、早めに避難の準備をするように心掛きましょう。

強い雨が降ったときの状況

1時間当たりの雨量	20 ^{ミリ} ～30 ^{ミリ}	30 ^{ミリ} ～50 ^{ミリ}	50 ^{ミリ} ～80 ^{ミリ}	80 ^{ミリ} 以上
天気予報で用いられる用語	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
雨の降り方	土砂降りですら傘をさしても濡れる	バケツをひっくり返したように降る	滝のようにゴーゴーと降り続く	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる
状況	側溝や下水、小さな川があふれる。小規模の崖崩れが起きる恐れがある	道路が川のようになり、山崩れや崖崩れが発生しやすくなる	視界が悪く、車の運転は危険。マンホールから水が噴き出すこともある	雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要となる

▼問い合わせ
総務グループ

(☎**85** 1 1 3 0)

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

富岸ジュニアキッカーズ

『富岸ジュニアキッカーズ』は、平成元年に結成された緑陽中学校区にあるサッカー少年団です。

現在の団員は、小学1年生から6年生までの男女27人。毎週火・木曜日の16時から18時30分までと毎週土曜日の13時30分から16時まで、監督とコーチの指導のもと、富岸小学校のグラウンド・体育館でサッカーの練習をしています。

「子どもたちには、サッカーを通じて友達をつくり、仲間を思う気持ちを大切にしてもらいたいですね。そして何より、サッカーを楽しんでもらいたいと思っています」と話すのは監督の鈴木敏晴さん。



▲細かいボールタッチでジグザグドリブルの練習をする子どもたち

「ボールをつなぎ、ゴールを決めて試合に勝ったときの楽しさや負けたときの悔しさをみんなで感じる事ができる素晴らしい競技です」と鈴木さんはサッカーの魅力を語ります。

全日本少年サッカー大会や全道サッカー少年団大会など、数多くの大会に向けて練習している『富岸ジュニアキッカーズ』。キャプテンの祖父江亮大さん(富岸小学校6年生)は「みんなで勝ち進み、全道大会の出場権を手に入れたいです」と意気込みを語り、チームメイトを引っぱりまわす。

プロのサッカー選手も輩出している『富岸ジュニアキッカーズ』。入団や見学を希望する方は、鈴木さん(☎080-1558019968)まで。



サッカーを楽しむことと仲間を思う気持ちを大切に